

兵庫県健康づくり推進実施計画策定の概要

背景

ライフステージに応じたきめこまやかな健康づくりの取組が必要

表 主な目標に対する達成状況(現行健康増進計画)

| 目標 | 対象 | 目標値 | 達成状況 |
|-----------------------------|--------|----------|------|
| 運動 (成人)意識的に運動を心がけている人の増加 | 男性 | 63%以上 | |
| | 女性 | 63%以上 | |
| (成人)日常生活における歩数の増加 | 男性 | 9,200歩以上 | |
| | 女性 | 8,300歩以上 | × |
| 女性20歳代やせの者の割合の減少 | 20歳代女性 | 15%以下 | × |
| | 12～14歳 | 2.3%以下 | × |
| 朝食を欠食する人の減少 | 15～19歳 | 10%以下 | × |
| | 20歳代男性 | 23%以下 | × |
| 食塩摂取量の減少 | 30歳代男性 | 18%以下 | × |
| | 15歳以上 | 10g未満 | |
| メタボを認知している人の割合の増加 | 成人 | 80%以上 | |
| | 男性 | 27.5%以下 | |
| たばこ喫煙率を下げる | 女性 | 5.7%以下 | |
| | 3歳児 | 83%以上 | |
| 歯の健康 | 40歳 | 22%以下 | |
| | 50歳 | 33%以下 | |

達成、改善、×悪化

- [運動] 男性は目標を達成、女性は改善している。
- [食生活] メタボリックシンドロームの認知は改善しているが、朝食の欠食が増え、女性20歳代のやせが増加している。
- [たばこ] 男女とも改善しているが、男性では40歳代、女性では30歳代の喫煙率が高い状況である。
- [歯の健康] う歯のない幼児、40歳・50歳の歯周病は改善している。

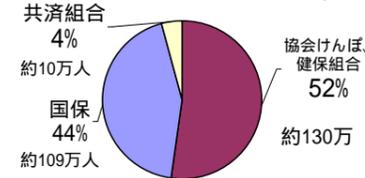
評価可能な110指標の達成状況
 達成 : 12指標(10.9%)
 改善傾向 : 63指標(57.3%)
 悪化 : 35指標(31.8%)

企業と連携した健康づくりが必要

<特定健診・特定保健指導実施率> (%)

| | 特定健診 | | 特定保健指導 | |
|-------|------|-------|--------|-------|
| | H23 | H29目標 | H23 | H29目標 |
| 市町国保 | 31.6 | 60 | 18.7 | 60 |
| 国保組合 | 22.6 | 70 | 4.3 | 30 |
| 健保組合 | 被保険者 | 86.7 | 単一90 | 22.1 |
| | 被扶養者 | 31.3 | 総合85 | 18.4 |
| 協会けんぽ | 被保険者 | 46.9 | 65 | 2.9 |
| | 被扶養者 | 11.2 | 1.3 | 30 |
| 共済組合 | 被保険者 | 84.9 | 90 | 15.5 |
| | 被扶養者 | 51.4 | 10.5 | 40 |
| 全県 | 44.2 | 70 | 16.4 | 45 |

<特定健診対象者の保険者別割合(H23)>

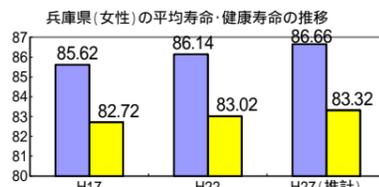
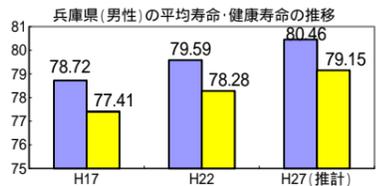


健康寿命の延伸が必要

<平均自立期間>

市町介護保険情報等(H21～23年度)を用いて算定

・男性：78.47年 ・女性：83.19年



厚生労働科学研究(H24年)によるデータ
 H27年はH17～22年の5年間の伸びをもとに推計

構成

| 基本項目 | 基本目標 | 数値目標数 | 主な数値目標項目 | 現状値(H23) | 目標値(H29) | 主な推進施策 |
|------------------|---|-------|-------------------------------|------------------------------|----------|--|
| 環境を整え、健康増進の促進を図る | 県民一人ひとりが主体的に心身の健康づくりを推進 多様な実施主体による連携及び協働の下に行う健康づくりの確立 疾病の一次予防から三次予防までの基盤となる一貫した保健医療等の連携 | 19 | (新)健康寿命の延伸 | 男性 78.47年 女性 83.19年 | 1年延伸 | 健康ひょうご21大作戦の展開 健康づくりチャレンジ企業制度の創設 (従業員・家族を対象とした健康づくり活動に取組む企業の登録、支援) 食の健康協力店、勤労者協同健康運動施設の設置 身近に相談できる場の設置促進 (まちの保健室、かかりつけ医等) |
| | | | (新)健康ひょうご21県民運動参加団体による活動件数の増加 | 13,216件 | 14,500件 | |

| 分野 | 基本的な方針 | 数値目標数 | 主な数値目標項目 | 現状値(H23) | 目標値(H29) | 主な推進施策 |
|-----------------|-----------------|-------|--|--|--|---|
| 健康づくり推進条例に定めた分野 | 健康づくり推進条例に定めた分野 | 111 | 学齢期・成人期 適正体重を維持している人の割合の増加 | 6～11歳 92.4% 男性15歳以上 70.9% 女性15歳以上 74.4% | 6～11歳 93% 男性15歳以上 74% 女性15歳以上 77% | 乳幼児健診等母子保健事業の充実 食育の推進 学校等における健康教育の強化 食の健康運動リーダーの養成及び活動支援 健診受診の必要性の普及啓発 肝炎ウイルス検査の受検促進 健康増進プログラムの提供 たばこによる健康被害に関する普及啓発 地域団体や住民が行う活動への支援など |
| | | | 成人期 特定健診・特定保健指導の実施率の向上 | 特定健診 44.2% 特定保健指導 16.4% | 特定健診 70% 特定保健指導 45% | 妊婦歯科健診・歯科保健指導の実施支援 8020運動推進員の養成、活動支援 歯科健診導入事業所への歯科医師等の派遣支援 障害者施設等における歯科健診、歯科保健指導の充実 |
| | | | 高齢期 (新)住民主体の介護予防に資する活動がある市町数の増加 | 23市町 56.0% (H24) | 41市町 100% | 妊産婦に対する相談支援の充実 うつチェック、ストレスチェックの実施促進 職場におけるメンタルヘルス対策の推進 若年性認知症への支援の充実 |
| 追加した分野 | 健康危機における健康 | 10 | 妊産婦期 (新)妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加 | 25市町 61.0% (H24) | 41市町 100% | 災害等に備えた健康意識の向上に関する普及啓発 (・災害に備えた非常食等の備蓄 ・食中毒予防、感染症予防に関する正しい知識) 県災害時の地域保健活動ガイドラインの改訂及び市町策定の支援 |
| | | | 特に配慮を要する方 (新)障害者(児)入所施設での定期的な歯科健診実施率の増加 | 65.8% | 80%以上 | |
| 追加した分野 | 健康危機における健康 | 13 | 正しい知識の普及啓発 情報提供、相談実施 保健医療等関係者との連携促進等 | 妊産婦期 (新)産婦のうつチェックを実施する市町数の増加 | 27市町 65.9% (H24) | 41市町 100% |
| | | | 成人期 自殺者数の減少 | 1,303人 | 1,000人以下 | |
| 追加した分野 | 健康危機における健康 | 10 | 大規模災害 健康意識の向上、二次的健康被害防止 | (新)災害に備え、非常食等を備蓄している世帯の割合の増加 | 41.9% (H20) | 60%以上 (H28) |
| | | | 食中毒 知識の普及、発生予防拡大防止 感染症 知識の普及、発生予防拡大防止 | (新)1事件あたり患者数が50名を超える食中毒の発生をなくす | 3件 | 0件 |
| 計 | | 168 | | | | |

圏域計画：各圏域の重点的取組事項を掲げて取組を推進

推進目標（数値目標）一覧（実施計画 P164 抜粋）

2 歯及び口腔の健康づくり

歯科口腔保健の推進に関する基本的事項

| 区分 ライフ ステージ | 項目 | 現状値 | 目標値 (平成29年度) | 指標・目標値の考え方 | 健康日本 21 (第2次)目標値 (平成34年度) |
|-------------------|---|--|--|--|---------------------------------|
| 妊産婦期 | 妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加 | 25 市町 (61.0%) (平成24年度市町歯科保健対策実施状況調査) | 41 市町 (100%) | 全市町実施を目指す | - |
| 乳幼児期 | 3歳児のむし歯のない人の割合の増加 | 82.8% (平成23年度3歳児歯科健診結果調査) | 87%以上 | 現状値の4.2%増加 (参考：平成18年度から年間0.8%増) | 3歳児でのう蝕のない者の増加 90% |
| | 3歳児のむし歯のない人の割合が80%以上である市町数の増加 | 29 市町 (70.7%) (平成23年度3歳児歯科健診結果調査) | 33 市町以上 (80.4%) | 各市町の現状値に4.2%増加を見込むと、80%以上の市町が33市町となる | - |
| 学齢期 | 12歳児での一人平均むし歯数の減少 | 1.18 歯 (平成23年保育所、幼稚園及び学校における歯科健診結果調査) | 1 歯未満 | 現行の健康増進計画の目標未達成(1歯以下)を引き続き目標達成を目指す | <参考> 12歳児でのう蝕のない者の増加65% |
| | 12歳児での一人平均むし歯数が1歯未満である市町数の増加 | 9 市町 (22.0%) (平成23年保育所、幼稚園及び学校における歯科健診結果調査) | 16 市町以上 (39%) | 各市町の現状値から0.18歯の減少を見込むと、1歯未満の市町が16市町となる | - |
| 成人期 | 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上) | 46.9% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査) | 56%以上 | 現状値の1.2倍に増加 | 65% |
| | はちまるにいまる 8020運動目標達成者割合の増加 40歳 28歯以上 50歳 25歯以上 60歳 24歯以上 | (40歳)64.1% (50歳)76.9% (60歳)61.1% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査) | (40歳)77%以上 (50歳)92%以上 (60歳)73%以上 | 現状値の1.2倍に増加 | 40歳 75% 60歳 70% |
| | 歯間清掃用具を使用する人の割合の増加(20歳以上) | 45.1% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査) | 54%以上 | 現状値の1.2倍に増加 | - |
| | 定期的な歯石除去や歯面清掃する人の割合の増加(20歳以上) | 24.6% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査) | 30%以上 | 現状値の1.2倍に増加 | - |
| 高齢期 | はちまるにいまる 8020運動目標達成者割合の増加 70歳 22歯以上 80歳 20歯以上 | (70歳)53.5% (80歳)35.2% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査) | (70歳)64%以上 (80歳)42%以上 | 現状値の1.2倍に増加 | 80歳 50% |
| する方 特に配慮を要 | 障害者(児)入所施設での定期的な歯科健診実施率の増加 | 65.8% (平成24年度健康増進課調) | 80%以上 | 現状値の1.2倍に増加 | 90% |
| | 介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科健診実施率の増加 | 28.9% (平成24年度健康増進課調) | 35%以上 | 現状値の1.2倍に増加 | 50% |

障害者(児)、要介護高齢者、難病患者